



金沢地本ニュース

西日本旅客鉄道労働組合金沢地方本部
〒920-0849 金沢市堀川新町10番15号
TEL (JR) 065-2057.2693 (NTT) 076-221-5500
FAX (JR) 065-3064 (NTT) 076-262-8868
発行責任者 前川 賀津雄 編集責任者 西山 純

2017 春闘が スタート!!

2月6日に大阪リバーサイドホテルにて、「第35回中央委員会」を開催し、2017春闘の具体的方針を代議員・執行部全員で確認決定し、翌2月7日に会社に要求書を提出した。要求内容は①要求方式は平均賃上げ方式、純ペアを要求 ②基準昇給額表に基づく基準昇給の完全実施を確認 ③JR連合の統一要求に則り、ベースアップ3,000円の引き上げ ④年間臨給5・7ヵ月(夏季2・85ヵ月、冬季2・85ヵ月)の支払いを求める ⑤55歳以降の基本給調整率の廃止 ⑥エリア手当の改定 ⑦扶養手当について、子供の扶養に対する増額 ⑧シニア・シニアリーダー・契約社員の時給4%の引き上げと精勤手当の増額など、組合員・家族の切実な要求を中心に会社に対して求めた。

2月23日までに4回の交渉を重ねているが会社からは先行き不透明な社会状況や少子高齢化に伴う、将来の不安などからペアについては消極的な回答しか、引き出せていないが、過去最高益だった去年に比べれば減収減益となっているものの経営状況は極めて良好に推移しており、我々の要求を実現する体力は十分にあると判断し、最後の最後まで粘り強く交渉を進める事とする。また当地本でも今春闘の意義、要求実現に向け、2月17日に金沢労済会館にてJR連合北陸地協・JR西日本連合共催で「2017春季生活闘争勝利総決起集会」を開催し、約100名の組合員が参加するなか、全員で意思統一を図るとともに、メンテック金沢労組やサービスネット金沢労組など各グループ労組に波及するような春闘を創り上げていくことを全体で確認した。また、2月11日には今年で20回目の開催を迎えた春闘の前哨戦と位置付けられる京都駅大階段駆け上がり大会には金沢地区支部金沢列車区分会から「梅鉢」チームとして参加し好タイムで駆け上がった。

今春闘も厳しい状況が予想されるが、要求実現に向け全組合員があらゆる取り組みに積極的に参加し、金沢地本から記憶・記録に残る2017春闘を創り上げよう!!

※今春闘のヤマ場3月15日



第3回バドミントン大会 優勝!

2月14、15日に和歌山地本準備のもと、白浜町立総合体育館にて第3回バドミントン大会が開催され、金沢地本は敦賀地区支部が参加し、予選リーグを勝ち進み、前回優勝の米子チームと1点を競る接戦を制し、初優勝を飾った。

左上から、松永さん、福島さん、山本さん、玉村さん、牧野さん、山内さん

糸魚川市大規模火災に対する義援金の御礼!

昨年12月22日に新潟県糸魚川市で発生した大規模火災は過去20年で最大規模となり、百四十七棟に及ぶ甚大な被害が発生しました。被災地で働く一員として一日も早い復興の願いを込め義援金を募り、七十八万二千円を集め、2月22日に地本三役と糸魚川地区支部 廣川委員長 長谷川・宮下両副委員長が糸魚川市役所を訪れ、米田市長に義援金をお渡ししました。「協力・ご支援いただいた組合員の皆様に感謝と御礼を申し上げます。」



「共済担当者会議」を開催

2月23日に金沢労済会館にて共済担当者会議を開催しました。本年も「交連共済・家族支援共済」を組織の主たる共済と位置付け組合員とその家族の福祉増進を目指し、取り組みを進めていきます。また、本年より家族支援共済の制度が見直され、61歳以降のシニア・シニアリーダー社員の方の掛け金が大幅に安くなるほか、一部を除く多くの若い組合員の掛け金も安くなります。制度変更に伴い、3月1日以降、移行手続きが必要となりますので各級役員のお協力をお願いします。この機に未加入者の方の新規加入、併せて安い掛け金で手厚く保証してくれる「交連共済」の増口・新規の加入を宜しくお願いいたします。